

# 2018年度日本文化人類学会

## 第2回理事会議事録

日時：2018年6月1日（金）18:30～19:30

会場：弘前大学総合教育棟（文京町地区）2階大会議室

<出席者>清水展、綾部真雄、飯田卓、石井美保、石田慎一郎、伊藤泰信、風間計博、亀井伸孝、川田牧人、木村周平、栗田博之、佐々木重洋、曾我亨、棚橋訓、速水洋子、松村圭一郎、森山工

<委任状提出者>赤堀雅幸、窪田幸子、高倉浩樹、中谷文美、森田敦郎、箭内匡

### [承認事項]

1. 2018年度 第1回理事会議事録を承認。
2. 新入会員（8名）につき、総務会で入会を承認したことを報告し、事後承認。

### [報告事項]

1. 会長報告
  - ・第28期監事について、鈴木正崇、関根康正の両評議員から内諾を得たこと、監事候補として評議員会・総会に諮ることを報告。
  - ・京都大学東南アジア研究所と東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所より「国際共同利用・共同研究拠点」申請に係る本学会からの要望書提出依頼があり、前回理事会での審議結果に基づき、総務会で検討の上、要望書の作成と発送を行ったことを報告。
2. 庶務理事報告
  - ・地区研究懇談会について、前回理事会での審議結果に基づき地区研究懇談会規程を確認した所、現状の枠組みでも実務担当者を置き、理事の所属地区と担当地区が異なる問題に対応可能であることが判明したことを報告。
  - ・「第9回（平成30年度）日本学術振興会育志賞」の学会推薦候補者の募集（5月14日〆切）について、期限までに応募者がなかったため、総務会で検討の上、5月25日まで応募期間を延長したが、最終的に応募者が無く、推薦を行わなかったことを報告。
  - ・「第8回（2019年度）三島海雲学術賞」の学会推薦候補者について、JASCA-INFOを通じて募集（7月12日〆切）を開始したことを報告。
  - ・過去に刊行された学会誌に掲載された論文著者の遺族より、遺族編集の論集への転載許可願いが届いたこと、『文化人類学』掲載論文等利用許諾基準に照らし、著者本人からの申請に準ずるという扱いで転載を許可したことを報告。対象論文は下記の通り。  
李獻璋「臺灣福佬人における神像彫塑の儀禮—開斧から開光まで—」『民族学研究』第30巻第3号（1965年）
3. 広報理事報告
  - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき計4件のJASCA-INFO配信を行ったこと、研究大会で開催される韓国文化人類学会とのラウンド・テーブルの案内については、第27期会長からの依頼により配信したことを報告。
5. 各種委員会報告
  - ・『文化人類学』編集委員会：綾部編集主任より、J-STAGEへの論文アップロードについて、外注も検討したが、高額であることから、しばらくは自前で行う予定であることを報告。
  - ・JRCA編集委員会：佐々木編集主任より、Vol. 19-1の進捗状況を報告。J-STAGEについては『文化人類学』と連携して進めることを報告。
  - ・課題研究懇談会担当委員会：連絡調整担当の木村理事より、設置規則に定められた、学会誌の「資料と通信」での2年に1度の活動報告がなされていない課題研究懇談会へ督促予定であることを報告。
  - ・学会歴史委員会：前期委員会との引き継ぎを終えたこと、文化人類学者・民族学者インタビュー映像

記録の公開に関する承諾書等の資料を確認中であることを報告。

- ・研究大会運営検討委員会：曾我理事より、近年研究大会開催を引き受ける機関が減っており、今回は初めての試みとして、事務局機能と会場・労務管理とを分けて実施したこと、今後は弘前大学と同規模の大学でどのようにすれば開催可能かを検討していく必要があることを報告。
- ・文化人類学教育委員会：松村理事、木村理事より、2018年日本文化人類学会若手支援ワーキンググループ若手研究者実態調査アンケートの結果について報告。
- ・次世代育成セミナー担当委員会：2018年度は東京外国語大学(東日本)、同志社大学(西日本)で開催予定であること、募集要項については、委員会で作成の上、総務会での確認を経て、JASCA-INFOと学会HPで周知を行う予定であること、これまでの開催実績を踏まえて来年度以降の実施に関して検討を行う予定であることを報告。

#### 【審議事項】

1. 各種委員会の構成について
  - ・清水会長候補より、前回理事会以降の変更を中心に説明があり、審議の結果、承認された。
2. 2018年度事業計画(案)について
  - ・木村理事より、2018年度事業計画(案)について前回からの変更点を中心に説明があり、審議の結果、承認された。
3. 2018年度予算(案)について
  - ・石田理事より、2018年度予算(案)について前回からの変更点を中心に説明があり、審議の結果、承認された。
4. 学会の法人化
  - ・清水会長候補より、これまでの経緯が説明され、それをふまえて2018年度評議員会・総会へ諮ることを確認した。
  - ・棚橋理事より、法人化決議事項について説明があり、審議の結果、下記7点を評議員会・総会へ諮ることが承認された。
    - (1) 任意団体・日本文化人類学会(以下、任意団体)を解散すること。
    - (2) 任意団体の解散の年月日時については、任意団体から一般社団法人日本文化人類学会(以下、法人)への財産の移行などの事業移転の完了時期が具体的に把握できる段階に至ったところで、理事会の審議を経て決定(一任)し、会員に周知すること。
    - (3) 任意団体第28期の会長、理事、評議員、監事を、それぞれ法人の設立時代表理事、設立時理事、設立時社員、設立時監事とすること。
    - (4) 設立時代表理事が選任された今総会終了後、すみやかに法人の設立登記の手続きに入ること。
    - (5) 任意団体の会員が、すべて法人の会員となること。この扱いに異議があり、法人への加入を行わない会員は6月末日までに申し出ること(詳細は、総会終了後にJASCA-INFOで配信)。
    - (6) 任意団体の会員として2018年度会費を支払った会員は、法人会員になった時に2018年度会費は免除されること。未払いの場合は、法人に2018年度会費を支払うこと。任意団体の下の未払い・既払いの会費債権は法人が引き継ぐこと。
    - (7) 現在の任意団体の事業、財産、債権は全て法人が引き継ぐこと。
5. 次世代育成国際研究集会発表助成の募集について
  - ・欠席の窪田理事に代わり、佐々木理事より、「国際情報発信強化」特別委員会での検討結果を踏まえた今年度の募集要項(案)が提示され、従来からの変更点を中心に説明があり、審議の結果、承認された。また、学会HPとJASCA-INFOを通じて募集を行うこととした。
6. その他
  - ・佐々木理事より、WCAAの電子ジャーナルに既に掲載された学会奨励賞の受賞論文の英訳論文をJRCAに掲載することについて、委員会で検討中であることが報告された。
  - ・2018年度総会で9名の物故会員に黙祷を捧げることを確認した。
  - ・第3回理事会は7月14日(土)14:00～、於東京外国語大学本郷サテライト。

以上